

対象範囲（2025年3月31日現在）

ニッポンハムグループ全体。一部算定において情報が不十分な場合はその都度、対象組織を明示しています。

対象		
国内拠点	生産飼育の施設や牧場	日本クリーンファーム株式会社/日本ホワイトファーム株式会社/有限会社純粋黒豚種豚農場
	食肉の処理・加工工場	日本ホワイトファーム株式会社/日本フードパッカー株式会社/宮崎ビーフセンター株式会社
	ハム・ソーセージ製造	日本ハムファクトリー株式会社/東北日本ハム株式会社/日本ハム北海道ファクトリー株式会社/南日本ハム株式会社/株式会社鎌倉ハム富岡商会/協同食品株式会社
	加工食品製造	日本ハム株式会社/日本ハム食品株式会社/日本ハム惣菜株式会社/日本ピュアフード株式会社/株式会社宝幸/南日本フレッシュフード株式会社/プレミアムキッチン株式会社
	水産・乳製品製造	日本ルナ株式会社/株式会社宝幸
	営業所、物流拠点、本社・支社、研究所など	日本ハム株式会社/日本ハムマーケティング株式会社/日本ルートサービス株式会社/日本デイリーネット株式会社/日本ハム冷凍食品株式会社/日本ハムカスタマー・コミュニケーション株式会社/日本物流センター株式会社/日本チルド物流株式会社/ジャパンフード株式会社/NHジャパンフード株式会社/東日本フード株式会社/関東日本フード株式会社/中日本フード株式会社/西日本フード株式会社/日本ピュアフード株式会社/株式会社宝幸/株式会社北海道日本ハムファイターズ/日本ルナ株式会社/南日本フレッシュフード株式会社/日本ハム北海道ファクトリー株式会社（店舗）/株式会社ウスネ/株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント
海外拠点	生産飼育の施設や牧場	ワイアラビーフ/エゲタブ
	食肉の処理・加工工場	オーキービーフエクスポート/T.B.S /ウィンガムビーフエクスポート/エゲタブ
	食肉加工品・加工食品製造・販売	山東日龍食品/醇香食品/タイ日本フーズ/NHフーズ・ベトナム/NHフーズ・インドネシア/デイリーフーズ/レドンド/LJDホールディングス/マウンテンビューパッケージング/タマラックフーズ
	食料品の販売・商社	日邦食品/NHフーズ・台湾/NHフーズ・タイ/NHフーズ・シンガポール/NHフーズ・オーストラリア/ビーフプロデューサーズオーストラリア/NHフーズ・U.K./NHフーズ・チリ/NHフーズ・メキシカーナ/デイリーフーズ/ジャパンフード 韓国支店

算定方法

■Scope1、Scope2の温室効果ガス排出量は、以下のように算定

国内：日本国 温対法に定める各種係数を使用して算定

↳ロケーションベースは、毎年の電気事業者別排出係数（同法に基づく）における代替値を使用して算定

↳マーケットベースは、毎年の各電力会社における電気事業者別排出係数（同法に基づく）を使用して算定

海外：各会社・事業所が所在する国や地域が定める法令やガイドラインなどを中心に、不明な場合は日本国 温対法の各種係数などを使用

↳ロケーションベースは、不明な場合、IEAが提供するEmissions Factors を使用

パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄、三フッ化窒素の排出はなし。また、ハイドロフルオロカーボンは算定対象外

■Scope3は、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインをもとに、各カテゴリごとにシナリオを設定、算定を実施

算定に使用した原単位は下記を使用または参考になっている

- ・毎年温対法に定める各種係数
- ・サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出などの算定のための排出原単位データベース

■Scope1、Scope2のエネルギー使用量は、以下のように算定

国内：毎年の温対法および省エネ法に定める各種係数などを使用して算定

海外：各会社・事業所が所在する国や地域が定める法令やガイドラインなどを中心に、不明な場合は日本国 省エネ法の各種係数などを使用して算定

■廃棄物リサイクル率・再資源化率については、以下のように算定

廃棄物リサイクル率： $(\text{廃棄物排出量} - \text{排出最終処分量}) / \text{廃棄物排出量} \times 100$ 単位は%

※ 有価物売却並びに法規制等により再生に供することが困難なものを除く

再資源化率： $(\text{社内再生利用量} + \text{有価販売量} + \text{排出再生量}) / (\text{廃棄物発生量} - \text{社内減量化量}) \times 100$ 単位は%

第三者検証

☒ マークのある箇所については、ISAE3000、ISAE3410の基準においてSGSジャパン株式会社により第三者検証を受審しています。

<検証対象>

温室効果ガス排出量：国内「Scope1」「Scope2」「Scope3」、海外「Scope1」「Scope2」

エネルギー使用量：国内・海外「Scope1」「Scope2」

水資源：国内・海外「取水」

環境目標

ニッポンハムグループはこれまで、3カ年ごとの中期経営計画において活動の環境負荷低減を目指した環境目標を策定してきました。2021年4月、「Vision2030」と「5つのマテリアリティ（重要課題）」の策定にあわせて、中長期的な視点で、2030年をゴールとする新たな環境目標を策定しました。持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷低減に努めるとともに資源の有効利用に継続的に取り組んでいます。また、2022年度より国内の中長期環境目標に合わせ海外における2030年をゴールとした環境目標を設定しました。今後はより一層グローバルな観点で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

国内における中長期環境目標の結果

目標	単位	基準値	2030年 目標値	2024年度 実績	進捗状況
化石燃料由来CO ₂ 排出量の削減 (2013年度を基準に46%以上削減)	t-CO ₂	550,518	297,279	417,928	削減量（基準値差）：▲132,590 削減率（基準値比）：▲24.1%
プラスチック使用量削減 ※1 (2013年度を基準に20%以上削減)	t	7,496	5,997	4,935	削減量（基準値差）：▲2,561 削減率（基準値比）：▲34.2%
廃棄物排出量（原単位目標） (2019年度を基準に5%削減)	kg/t	134.6	127.9	122.0	削減量（基準値差）：▲12.6 削減率（基準値比）：▲9.3%
廃棄物リサイクル率 (2030年度に92%以上) ※2	%	84.1	92.0	90.5	—
用水使用量（原単位目標） (2019年度を基準に5%削減)	m ³ /t	15.2	14.4	15.1	削減量（基準値差）：▲0.1 削減率（基準値比）：▲0.7%

※ 各原単位のベースは、商品製造工場における製造数量

※ CO₂排出量および熱量は、毎年の温対法に定める各種係数を使用して算定

※1 容器包装リサイクル法対象商品

※2 廃棄物リサイクル率の参考値は84.1%（2019年度実績）、算定式はP.16算定方法欄に記載

海外における中長期環境目標の結果

目標	単位	基準値	2030年 目標値	2024年度 実績	進捗状況
化石燃料由来CO ₂ 排出量の削減 (2021年度を基準に24%以上削減)	t-CO ₂	143,340	108,938	135,164	削減量（基準値差）：▲8,176 削減率（基準値比）：▲5.7%
用水使用量（原単位目標） (2021年度を基準に5%削減)	m ³ /t	14.7	14.1	12.4	削減量（基準値差）：▲2.3 削減率（基準値比）：▲15.6%

※ 目標の基準年：海外については2021年度実績を基準、削減目標の設定は国内の年削減率と同等

※ 各原単位のベースは、商品製造工場における製造数量

※ CO₂排出量は、海外各社が所在する国や地域が定める方法を中心に、不明の場合は日本国 温対法並びにIEA Emissions Factorsの係数を使用して算定

地球温暖化の防止

サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量

■温室効果ガス排出量 ☒

Scope	項目	事業範囲	Scope2 パターン	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope 1	CO ₂ (千t-CO ₂)※1	国内	—	220	222	213	203	190
		海外	—	—	52	55	53	55
	メタン (千t-CO ₂)※2	全社	—	28	116	134	122	144
	一酸化二窒素 (千t-CO ₂)※2	全社	—	101	102	99	52	48
Scope 2	CO ₂ (千t-CO ₂)	国内	ロケーションベース	276	267	246	243	231
			マーケットベース	257	260	236	232	230
		海外	ロケーションベース	—	92	86	78	80
合計	CO ₂ (千t-CO ₂)	全社	ロケーションベース	625	851	833	751	748
Scope 3	CO ₂ (千t-CO ₂)	国内	—	10,576	10,503	10,258	10,475	10,567※3

※1 対象データ：化石エネルギー起源および廃棄物焼却

※2 家畜消化管内発酵及び排泄処理のみ算定

※3 2024年度より算定方法を変更

■Scope3の内訳 ☒

カテゴリー	CO ₂ (千t-CO ₂)	構成比(%)
1 購入した製品・サービス※1	9,405	89.0
2 資本財	76	0.7
3 Scope1,2に含まれない燃料およびエネルギー活動	77	0.7
4 輸送・配送（上流）※2	595	5.6
5 事業から出る廃棄物	43	0.4
6 出張	3	0.0
7 雇用者の通勤	10	0.1
8 リース資産（上流）	-	-
9 輸送・配送（下流）	-	-

カテゴリー	CO ₂ (千t-CO ₂)	構成比(%)
10 販売した製品の加工※3	119	1.1
11 販売した製品の使用※4	161	1.5
12 販売した製品の廃棄※5	77	0.7
13 リース資産（下流）	1	0.0
14 フランチャイズ	-	-
15 投資	-	-
合計	10,567	100

※1 製品に関連する原材料及び資材

※2 製品に関連する原材料及び資材に伴う輸送及び費用負担する製品輸送

※3 業務用製品加熱調理 ※4 市販用製品加熱調理 ※5 食べ残し、製品包材の廃棄

事業別環境データ

■ 温室効果ガス排出量

(千t-CO₂)

項目			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
国内	生産飼育の施設や牧場	Scope1	182	179	174	113	107
		Scope2	37	35	35	35	34
		小計	219	215	209	148	141
	食肉の処理・加工工場	Scope1	27	27	27	27	25
		Scope2	34	33	31	30	31
		小計	60	60	58	57	56
	ハム・ソーセージ製造	Scope1	37	36	34	32	30
		Scope2	49	48	45	44	41
		小計	86	84	79	76	71
	加工食品製造	Scope1	67	69	65	55	49
		Scope2	94	92	80	78	65
		小計	161	161	145	133	114
	水産・乳製品製造	Scope1	8	8	8	7	7
		Scope2	17	16	16	15	9
		小計	25	24	24	22	16
	営業所、物流拠点、 本社・支社、研究所	Scope1	1	1	2	6	5
		Scope2	45	44	39	41	50
		小計	46	45	41	47	54
	車両	Scope1	28	28	26	26	24
	合計	Scope1	349	348	336	266	247
		Scope2	276	267	246	243	230
		合計	625	615	582	509	477
海外		Scope1	—	144	165	164	190
		Scope2	—	92	86	78	80
		合計	—	236	251	242	270
合計		Scope1	349	492	501	430	437
		Scope2	276	359	332	321	310
		合計	625	851	833	751	747

省資源の取り組み

エネルギーの使用

■各種エネルギー使用量の推移

項目			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
国内	燃料 (GWh)	ガソリン	10	10	8	8	8
		灯油	164	163	162	153	149
		軽油	103	105	98	99	96
		A重油	237	215	191	153	107
		液化石油ガス (LPG)	117	126	111	93	83
		液化天然ガス (LNG)	84	88	76	58	100
		都市ガス	287	309	334	361	337
		バイオマス	—	16	17	16	19
	燃料 合計		1,002	1,033	997	941	899
	蒸気、冷水、温水 (GWh)		6	6	6	6	6
海外	電力 (GWh)		585	589	562	560	555
	うち再生可能エネルギー (GWh)		1	1	4	8	11
	小計 (GWh)		1,593	1,627	1,565	1,507	1,460
	うち再生可能エネルギー (GWh)		1	17	21	24	30
	燃料 (GWh)	ガソリン	—	3	3	4	2
		灯油	—	0	0	0	0
		軽油	—	24	24	25	24
		重油	—	8	5	0	0
		石炭	—	95	103	100	98
		液化石油ガス (LPG)	—	13	25	24	22
		天然ガス	—	53	44	44	60
		都市ガス	—	2	2	2	2
		バイオマス	—	80	83	66	76
	燃料 合計		—	278	288	264	284
合計	蒸気、冷水、温水 (GWh)		—	12	23	18	16
	電力 (GWh)		—	167	157	130	136
	小計 (GWh)		—	456	468	412	436
	うち再生可能エネルギー (GWh)		—	80	83	66	76
合計	合計 (GWh)		1,593	2,084	2,033	1,919	1,896
	うち再生可能エネルギー (GWh)		1	97	104	90	107

水資源の使用

■取水量・用水使用量の推移（取水源別）

項目			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
国内	☑ 取水量・用水使用量（千m ³ ）	地下水	10,873	10,881	10,603	10,031	9,663
		表層水	0	0	0	0	0
		上水(工業用水を含む)	3,947	3,840	3,658	3,766	3,533
		海水	0	0	0	0	0
		小計	14,820	14,721	14,261	13,796	13,196
	再利用・再生利用水（千m ³ ）		39	37	65	69	79
海外	☑ 取水量・用水使用量（千m ³ ）	地下水	—	611	1,072	2,530	1,935
		表層水	—	564	771	2,426	998
		上水(工業用水を含む)	—	2,100	2,240	1,883	1,879
		海水	—	13	16	0	0
		小計	—	3,288	4,099	6,839	4,812
	☑ 取水量・用水使用量合計		14,820	18,009	18,360	20,635	18,008

※ 取水量・用水使用量には、生産部門において一部推計値を含む。家賃込み等の理由でデータが把握できない拠点は含まれない

項目			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
国内	排水（千m³）	河川などへの処理水放流	11,765	12,224	11,373	11,322	10,468
		下水	1,489	1,512	1,502	1,606	1,555
		合計	13,254	13,736	12,875	12,928	12,022
海外	排水（千m³）	河川などへの処理水放流	—	—	—	—	3,232
		下水	—	—	—	—	994
		合計	—	—	—	—	4,226
排水量合計			—	—	—	—	16,248

※ 排水量には一部推計を含む

廃棄物

■廃棄物の内訳（国内における実績）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
廃棄物発生量（千t）	402.5	397.6	380.2	378.0	388.2
（内）排出量（千t）	208.8	198.7	193.5	188.1	191.2
再生利用量（千t）	376.9	380.8	364.2	361.4	367.8
最終処分量（千t）	19.7	9.6	11.0	11.2	15.7
再資源化率（%）	94.7	96.9	96.6	96.3	95.3
有害廃棄物（t）	22.5	24.0	18.1	19.3	17.0

※ 再資源化率の算定式はP.16算定方法欄に記載

※ 有害廃棄物は特別管理産業廃棄物と定義

環境法令の遵守状況

ニッポンハムグループでは、各事業所において法令遵守のための取り組みを実施しています。特に環境負荷の大きくなる農場、工場、物流拠点を中心にして、その仕組みが適切に運用されるためにISO14001の認証を取得する他、未認証事業所も含め、各事業所自らが所在する国や地域の法令を把握し、遵守する体制を構築しています。ISO14001規格に基づく内部監査やその他の内部監査などで発見された事項は、再発防止策を含め対策を実施します。万が一環境事故が生じた場合は、各事業所で定める手順に従い修正措置を講じるとともに、関係機関への報告並びにニッポンハムグループ内へ報告・共有され、適切な対応が実施される体制を構築しています。

2024年度、ニッポンハムグループの事業所において、環境へ重大な影響を与える事故はありません。

※ 重大な事故とはニッポンハムグループで内規として定義

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
重大な環境事故件数（件）	0	0	0	0	0
罰金額（円）	0	0	0	0	0

事業活動と環境影響（国内）

■投入量

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
家畜飼料（千t）	641	626	626	618	584
製品の原材料（千t）	241	240	215	207	197
プラスチック（t）	6,495	6,429	6,909	7,179	6,477
木質繊維/紙繊維（t）	—	—	—	—	21
金属（アルミニウムやスチールなど）（t）	—	—	—	—	0
ガラス（t）	—	—	—	—	256
燃料（GWh）	1,002	1,033	997	941	899
うち再生可能エネルギー（GWh）	—	16	17	16	19
電力（GWh）	585	589	562	560	555
うち再生可能エネルギー（GWh）	1	1	4	8	11
水（百万m ³ ）	15	15	14	14	13

※ 水投入量は、生産部門において一部推計値を含む

■出荷・排出量

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
製品生産量（食肉・加工食品）（千t）	805	810	761	742	712
温室効果ガス（千t-CO ₂ ）	625	615	583	509	477
窒素酸化物/NOx（t）	507	511	518	635	615
硫黄酸化物/SOx（t）	193	176	167	186	65
排水（百万m ³ ）	13	14	13	12	12
廃棄物（発生量）（千t）	403	398	380	378	388
再資源化率（%）	94.7	96.9	96.6	96.3	95.3

※ 排水量は、生産部門において一部推計値を含む

※ 再資源化率の算定式はP.16算定方法欄に記載

第三者保証

ニッポンハムグループは、開示データの適切性について、第三者保証を受審しています。

■ 保証基準

ISAE3000、ISAE3410

■ 対象項目

- ・ステークホルダーマネジメントプロセス
- ・温室効果ガス：Scope1及び2※1、3
- ・エネルギー消費量
- ・水資源：取水量
- ・報告プロセスをサポートするマネジメントシステム

※1 対象ガス：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素

(エネルギー起源および廃棄物焼却、家畜消化管内発酵及び排泄処理のみ算定)

■対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

なお、項目はニッポンハムグループの生産・製造事業所及び営業拠点、

物流拠点、本社・支社、研究所の事業活動を範囲としています。

※ 当該情報は、ニッポンハムグループのwebサイトにも開示しています。

